

青森県で発生が確認された葉巻萎縮病の特徴

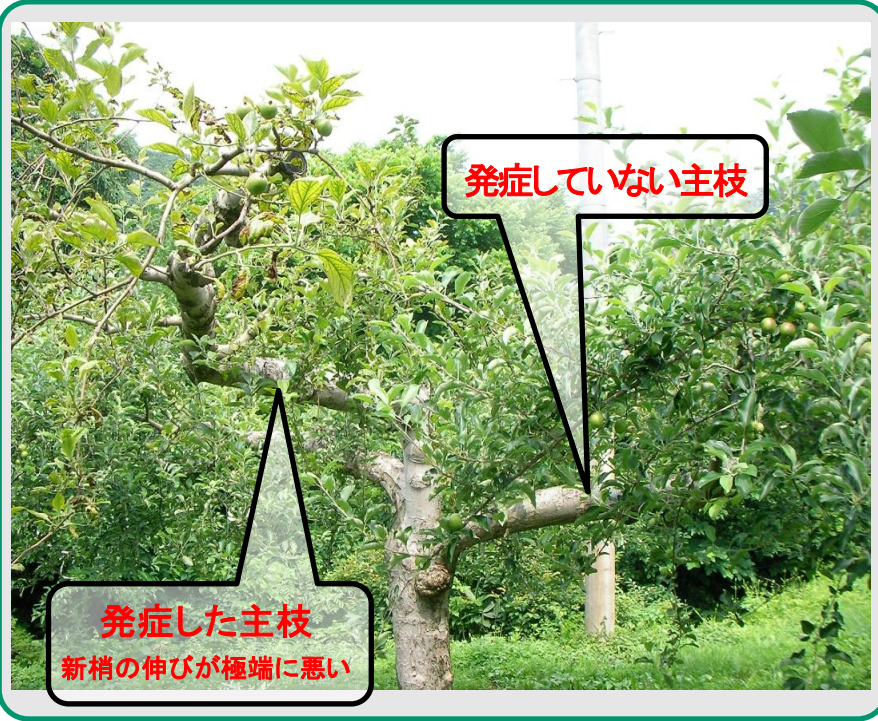
りんご研究所

これまで苦土欠乏症と類似しているものの、葉の黄化症状や発生部位などから原因不明とされてきた症状は、リンゴ葉巻萎縮病によるものであることが明らかとなったので、被害樹の特徴と予防対策について紹介します。



苦土欠乏症の「ふじ」

被害樹の特徴



発症していない主枝

発症した主枝
新梢の伸びが極端に悪い

新梢葉にみられる特徴①



裏側に湾曲する葉巻症状を呈して萎縮し、黄化や褐色斑点が生じます

新梢葉にみられる特徴②



葉縁から黄褐色～赤褐色を呈する症状がみられます

根部にみられる特徴

被害樹にはいずれも露出した根部に大きな傷があり、損傷部周辺には灰白色～灰色のパッチ状の菌塊がみられることがあります



パッチ状の菌塊

※被害樹の写真はすべて「つがる」

予防対策

本病の防除に有効な薬剤がないため以下の予防対策を行ってください。

予防対策①

病原菌は主に露出した根部の付傷部や主幹の地際部の傷などに侵入するので、草刈り等の栽培管理で、樹体に傷を付けないでください。

予防対策②

樹体を傷つけた場合、傷口のゆ合促進を図るため直ちに塗布剤（バッチレート）を塗ってください。被害樹は伝染源となるので、できるだけ伐採・伐根して処分してください。

お問い合わせ

りんご研究所・病虫部 (Tel0172-52-2331)